

第73回 信越アマチュア局非常通信コンテスト

(略称：JAφ-OSOコンテスト) 規約

- 【目的】 自然災害や不慮の事故などの非常事態に備え、より多くのアマチュア局間の交信設定を可能とし、かつ正確で迅速な交信が行えるよう、日常的な準備と訓練を行い、その成果を互いに競い確認することを目的とする。
- 【開催日時】 2026年4月1日(水) 00:00～21日(火) 23:59(0:00時報まで) 21日間
毎日21時から1時間(土日曜日は6、9、12、15、18、21時から各1時間)を集中運用時間とする。
- 【参加資格】 JAゼロエリアのコールサインの局、および信越管内在住の他エリアコールサインのJARL会員局。個人局のみ。ゲストオペ不可。
上記以外の個人局はチェックログとするが、コンテスト活性化に貢献したと認められる場合は特別に表彰対象とすることがある。
社団局との交信は無効。
- 【電波の型式・周波数など】
3.5/7/144/430MHzの各周波数帯、電信および電話(RTTY、FT8等のデジタルモードは不可)、JARLコンテスト周波数に従う。
信越管内に設置されたアナログレピーターおよびD-STARレピーターの使用も可(使用周波数は不問)。
ただし、同一のレピーター(D-STAR含む)は1日3交信までとする(D-STARのターミナルモードは1つのレピーターとしてカウント)。
D-STARは山かけ/ゲート越えとも使用可とするが、自局が利用するレピーターをもって同一のレピーターとカウントする。
交信は簡潔に、他局との共用に配慮する。遠隔操作局も可(電波の発射位置が信越管内であること)。衛星通信は不可。
- 【部門】 部門は特に設けず、1部門とする。(県別の部門も無し)
- 【運用地】 信越管内(ゼロエリア)での運用とし、コンテスト期間中の移動運用は自由。コールサインの「/φ」付加は任意。ただし、他エリアコールサインの局がゼロエリア内で運用する場合は「/φ」を付加する。
- 【通信電文】 1. 任意の電文を3種類以上用意し、同一電文を続けて使用しない

2. 電文の字数は文頭の「クンレン」を含め15～20字とする
3. 電文はカタカナおよび数字を使用し、濁点・半濁点は字数に数えない
4. 非常事態と誤解される恐れのあるまぎらわしい電文は使用しない
5. 和文通話表を用い、正確に伝えることが望ましい

【呼び出し】 電信=CQ JAφ TEST 電話=CQ JAφ コンテスト

【交信事項】 RS (T) + 電文

- 【得点】
1. 完全な交信に対して1交信を10点とし、採点では送信5点、受信5点とする。
 2. 相互のログの照合ができなかった交信については5点減点とする。
 3. 交換した電文の中に誤字脱字などのミスがあった場合は、交信両局の連帯責任としてそれぞれ1字につき1点減点、5字以上のミスがあった場合は、その通報は無効とする。その他、コンテスト委員会の判断で減点することがある。
 4. 同一局との交信は、日付やバンド、モードが異なっても1回のみ有効とする。
 5. 総合得点で同点の場合は、最終交信時刻が早い局を上位とする。

【マルチ】 交信を行った日数（最大21日、バンド別にはカウントしない）

【総得点】 得点×マルチ

【報告書の提出】

1. 様式は下記のものとする。
サマリーシート：
A4サイズの最新様式「コンテスト用紙」または同形式を使用
コンテストログ：
JARL 信越地方本部コンテスト委員会ウェブにある指定書式の
ログシートを使用すること（これと同形式であれば自作でも可）。
JARL 発行の業務日誌形式の流用可
（記載事項が明記されていること）。
なお、ウェブの参照が出来ない場合は当委員会へ SASE 等で
問い合わせてください。
2. ログへの記載は交信順に記載し、送受信の電文を区別するため、

自局の送信電文行に○印を記入する（記載方法参照）。

3. 信越管内の各登録クラブの加入している局は、サマリーシートの登録クラブ対抗の欄に必要事項を記載することにより、クラブ対抗へのエントリーとする。
4. 電子メールでの提出は、Word、Excel もしくは PDF の添付ファイルによるものとする（印刷して指定様式になることが条件）
サマリーシートの署名欄には必ず氏名が明記されていること
（自署の必要はありません）。

e-mail : ja0contest@gmail.com

※From アドレスが「jarl.com」で送付されると迷惑メールとして扱われる可能性がありますので、使用しないでください。

5. 締め切り： 2026年4月30日（木）消印有効
（郵便以外の方法の場合、5月1日（金）必着）
6. 提出先 〒943-0648 新潟県上越市牧区小川2176
西山浩平 方 OSO係
7. 書類受付局リストをコンテスト委員会サイトに順次掲載いたしますので、締め切りを過ぎても掲載されない場合は下記コンテスト委員会のお問合せメールアドレスへ連絡ください。
8. 結果公表後に自身の減点内容を知りたい場合は、下記コンテスト委員会のお問合せメールアドレスへ連絡ください。

【発表】 順位はコンテスト委員会サイトならびに各県の支部大会で発表する。

- 【表彰】
1. 最高得点の局には「信越総合通信局長賞」を贈呈（予定）。
 2. 上位入賞局に賞状。
 3. 両県内登録クラブ対抗：県別に上位クラブに賞状。
 4. ジュニア部門：平成20年4月2日以降に生まれた方は、サマリーシートの意見欄に「ジュニア部門」と記載して生年月日を記入すること。上位局に賞状。
 5. コンテスト委員会の裁量により委員会特別賞（賞状）。

【注意事項】 1. 呼出周波数はコンテストナンバー交換には使用しないこと。
この周波数でのナンバー交換は無効とします。

2. デジタル呼出周波数（145.30MHz、433.30MHz）でのアナログによる交信は避ける様にしてください。
JARL バンドプランを遵守のこと。この周波数でのナンバー交換は無効とします。
3. クラスタ等の利用については本部コンテスト規約に準ずる他、Web、SNS 等を利用した運用情報の「共有」（セルフスポット含む）を認める。ただし、限定された相手への情報提供や、電話、メール、チャット等の手段を用いて伝える行為、個人的な交信依頼は禁止する。
4. コンテスト終了時以降に自局の運用状況（参加記等）を SNS 等へ掲載する行為については特に禁止はしない。
ただし、参加者の結果に影響を及ぼす様な内容（自局の電文 等）についてはログ提出締め切りまで禁止する。
5. 電子メールによるサマリー及びログの提出については1 メールにつき1 局分のみとし、複数局分をまとめて送信しないでください。
委員会の判断で虚偽報告として失格となる場合があります。
6. 1 Q S O でも交信した場合にはログの提出をお願いします。
あなたのログが確認できない場合、交信相手の得点も減点されてしまいます。
7. その他、本規約に記載されている以外の事項については、JARL コンテスト規程及び JARL 本部主催の各コンテスト（ALL JA コンテスト他）の注意事項等に記載の内容を基に、信越地方本部コンテスト委員会が失格等の審査判定をする。

※お問い合わせは電子メールにて下記のアドレスまでお問い合わせください

E-mail : zero-contest@jarl.com

信越地方本部コンテスト委員会のHP

<https://www.jarl.com/zerocontest/>

信越アマチュア局非常通信コンテスト

(略称：JAφ-OSOコンテスト) 規約FAQ

Q. 今回の規約改定の目的は何ですか？

- A. 近年の参加局減少に伴い、多くの局と交信するよりも、特定の局と多バンドで交信する局のほうが上位入賞することが多くなり、本来のコンテストの趣旨からかけ離れてしまっている現状への対応です。

コンテストの期間を 21 日と長くし、代わりに多くの局と交信することを評価する規約へと変更しています。

周波数は 3.5/7/144/430MHz に限定しますが、代わりにレピーターや D-STAR も使用可とし、期間中の移動運用も自由に行える（信越管内）こととしました。

Q. 「集中時間帯」とは何ですか？

- A. 今回よりマラソンコンテスト型式としたため、参加局どうしが出会えるタイミングを作るためのものです。

参加局がこの時間帯に集中して運用することによって、互いに参加局を見つけやすくするためのもので、この時間帯以外での交信を禁止するものではありません。

Q. ゼロエリア以外の局との交信は無効ですか？

- A. ゼロエリア以外で運用する個人局との交信は有効ですが、ゼロエリア以外で運用する局は参加資格が無く、書類を提出されてもチェックログとなり順位はつきません。ただし、チェックログを提出していただかないとその交信は 5 点減点となります。なお、社団局との交信は、地方局（JA0RL 等）を除きすべて無効となります。

Q. どのような電文を用意したらいいのですか？

- A. 電文の内容はまったくの任意です。「クンレン」で始まる、計 15～20 文字としてください。ただし、規約にもありますが、実際の災害等と紛らわしい電文は極力避けてください。

なお、和文通話表での交信が基本ですので、「ッ」「ャ」などの文字の大小は区別しません。

例： クンレンコトシモガンバレコンテスト
クンレンコンネンドモドウゾヨロシク
クンレンヒジヨウジニソナエヨウ
クンレンモモモスモモモモノウチ
クンレンアナタモワタシモコンテスト
クンレンハルノアンテナチヨウセイチュウ
クンレンバッテリーハジユウデンシテオコウ
クンレンゼロエリアハサクラマンカイ
クンレンオカエリナサイマセゴシユジンサマ

Q. 交信方法（例）を教えてください。

A. 今回の規約改正により、他のコンテストと変わらないシンプルな交信例となります。
下記を参照してください。

「CQ JA ゼロコンテスト こちらは JL0ABC どうぞ」
「JL0ABC こちらは JM0XYZ どうぞ」
「JM0XYZ こちらは JL0ABC
こちらから 59 クンレンニイガタシサクラマンカイ どうぞ」
「了解 こちらから 59 クンレンナガノノヤマナミユキドケチカシ どうぞ」
「了解 ありがとうございます さようなら」
「さようなら」

なお、電文送信時の和文通話表の使用は任意としますが、部分的に使用する等、効率的かつ正確な送受信ができるよう心掛けてください。

Q. コンテスト中に同じ局と別のバンド、別のモードで別の日に交信しても得点にならないのですか？

A. 今回の規約改定で「コンテスト期間を長くし、より多くの局と交信する」ことを評価基準としました。

よって、1局とは期間内の交信1回のみ有効とします。ただし、交信できた日数を

マルチとするため、特定の局と複数の日に交信し、他の局と交信できなかった日の交信だけ有効とすればマルチを稼ぐことができます。

(その他の日の交信を重複=無効交信、0点と扱ってください。)

無効交信のみの日はマルチとしてカウントされません。

同一局と毎日交信しても、1交信1マルチしかカウントされません。

ただし、交信の事実が認められれば、減点によって0点となった交信を行った日もマルチとしてカウントされます。

追加説明として、本コンテスト用ログフォーマットの記載例の中に、同一局との交信の例を記載しましたので、ご参考願います。

Q. 書類提出は、サイトに掲載されたサマリー・ログを使用しなければいけませんか？

- A. このサイトに掲載された書類フォーマットを推奨します。同形式で自作されたものを使用しても構いませんが、必要な事項が記載されていることが必要です。
内容の確認が困難な場合は問い合わせをさせていただき、状況によっては失格（もしくはチェックログ）とさせていただく場合がありますので、
極力推奨フォーマットをお使いくださるようお願いいたします。

電子メールで送信いただく場合は、Word、Excel もしくは pdf で、受信側で印刷して同形式になることが条件となります。メールのタイトルは「コールサインのみ」でお願いいたします。あいさつ文等も不要です。

Q. セルフスポットはOKなのですか？

- A. JARL 本部主催コンテストでは禁止されている「セルフスポット」を試行的にOKとしました。

これも交信の機会を増やすためと考えています。公開された Web サイト、SNS の「公開情報」（誰でも見れる）であれば、自局他局の運用情報を共有してよいこととします。ただし、SNS の「友達限定」「鍵アカウント」など、限定された人にしか届かない方法や、電話、メール、チャットなど個人的な交信依頼は禁止とします。

アマチュア無線以外の方法で「交信内容」を交換、確認するなどは論外です。

Q. 毎年4月は積雪のため、まだ山岳部等の移動運用に適した場所には行けず、ロケの悪い場所からの運用になってしまいます。コンテストの時期を変更することはないのですか？

A. 今回の規約改定で、ルールそのものを大きく変更しています。まずはこの変更が有効かどうかの確認をしたいと思います。また、3.5MHzと7MHzも使用できますので（従来もHF帯の使用は可でした）、昼夜のコンディションを見極めながらこれらのバンドも使用して、その有効性を検証したいと思います。

コンテストの開催時期は、全国的に防災訓練等が開催されることが多い秋季への移動も検討いたしますがまずはこの改正規約の有効性を確認することを優先させてください。